

超 域 文 化 科 学 紀 要

2018/23



interdisciplinary cultural studies
the university of tokyo / komaba

超 域 文 化 科 学 紀 要

第 23 号 — 2018

目次

- 「語り部」生成の民俗誌にむけて
—「語り部」の死と誕生、そして継承1 5
川松 あかり
- 珍奇なるものから平凡なものへ
—柳田國男における民俗学と民族学の位相 27
岩本 通弥
- 夏目漱石『草枕』における「逸民」表象 57
斉 金英
- 約束の意味と主体の生成
—ハンナ・アーレントにおける「現れ」の行為論から 77
宮田 晃碩
- 回帰するモダニズム
—単色画と韓国美術の展開 99
鍵谷 怜
- 「境界」の画家、裴雲成に関する一考察
—ヨーロッパでの制作活動における日本との関連性を中心に 123
申 政正

明治大正期日本のアートドキュメンテーション
——美術批評家・岩村透による国内外美術情報の構築とその思想(下) … [右65] 172
今橋 映子

山田正隆訳『回世美談』と明治初期翻訳小説 …………… [右49] 188
飛田 英伸

久保田藩士狩野家と戊辰戦争
——狩野亨吉博士遺蔵文書の新資料をめぐって …………… [右25] 212
川下 俊文

一条兼良における『日本書紀』「神代」解釈の態度
——「神」解釈をめぐって …………… [右1] 236
徳盛 誠

2017年度 教員実績 …………… 237
執筆者紹介 …………… 277
英文目次 …………… 278
「超域文化科学紀要」次号原稿募集について …………… 280
編集後記 …………… 281